



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

本プレスリリースは、2016年 9月 9日スウェーデン本社発、プレスリリースの抄訳です。

2016年9月12日

ボルボ、公道実証実験プロジェクト用自動運転車をラインオフ

ボルボ・カーズは、9月9日朝、イエーテボリでの「Drive Meプロジェクト」で使用される自動運転車の第一号車を完成させました。これに伴い、世界で最も意欲的で先進的な、公道での自動運転実験である「Drive Me プロジェクト」を正式にスタートさせました。



2016年9月9日朝、スウェーデンのトースランダ工場で、自動運転テクノロジーを搭載したボルボXC90をラインオフしました。このボルボXC90は、スウェーデンのイエーテボリの一般ユーザーに提供され、「Drive Me プロジェクト」として、公道での走行実験を行うこととなります。

ボルボは自動車安全技術で業界をリードするメーカーであり、AD(自動運転)テクノロジーの導入が自動車事故を減少させると確信しています。さらに、ADテクノロジーは、交通渋滞の解消や大気汚染の防止を約束するほか、ドライバーが車内での時間をより有効活用できるようになると考えています。

ボルボは現在90シリーズのモデルに、半自動運転機能(レベル2相当)である「パイロットアシスト」を搭載しています。このテクノロジーは、緩やかなステアリング操作によって運転をアシストするもので、速度が時速130 kmまでであれば、前走車がいなくとも、走行車線をキープしたまま走行することが可能です。「Drive Me」用の自動車はそれに加え、ボルボが「自動運転頭脳(Autonomous Driving Brain)」と呼ぶ機能を搭載し、イエーテボリ周辺に設定した自動運転ゾーンにおいて、ハンドルを離れたまま、またアクセルやブレーキの操作も必要なく運転することが可能です。

ボルボ・カーズのアクティブセーフティ部門でシニアテクニカルリーダーを務めるエリック・コリンは、「これは『Drive Me』プロジェクトにとって重要な節目になります」と、ラインオフされるXC90を見守りながら語りました。さらに、「お客様は私達エンジニアとは違った目で車を見ます。そのため、お客様が日常生活の中でこれらの車をどのように使うのか、またどんな意見が出るのかを楽しみにしています」とも語っています。

「Drive Me プロジェクト」の一般ユーザー向け自動運転車は、ファクトリーでの組み立てが完了すると厳しいテスト工程に回され、搭載された最新の自動運転技術が設定通りに確実に機能するか確認されます。ボルボのエンジニア達によって厳しいテストが行われたのち、この自動車は「Drive Me プロジェクト」に参加するカスタマーに引き渡されます。

イェーテボリの「Drive Me プロジェクト」は、ボルボの自動運転車で、一般ユーザーが公道を走る初めの実証実験となります。今回のイェーテボリの試験と同様のプロジェクトが、2017年にはロンドンでも行われる予定です。さらに今後数年以内に中国でも「Drive Me プロジェクト」実施を予定しており、実施都市の選定を行っています。

ボルボは、自動運転技術の分野における戦略的提携についても積極的に取り組んでいます。2016年8月には、次世代の自動運転車を共同で開発するため、米国の配車サービス大手であるウーバー（Uber）と新たな提携を開始しました。また本年9月には、次世代の自動運転ソフトウェア開発を目的に、自動車安全システムサプライヤーの大手であるオートリブ（Autoliv）と合弁会社をスウェーデンに設立することを発表しています。

1959年に3点式シートベルトを発明して以来、ボルボの社名は自動車の安全性を象徴するものになっています。スウェーデンに本社を構えるボルボは、新しいボルボ車に乗車中の事故における、死者や重傷者を2020年までにゼロにする、という中期的なビジョンのもと、自動運転システムの開発で先駆的な役割を果たしています。

カスタマーに焦点を合わせたこうしたアプローチこそが、「Drive Me」プロジェクトを他の自動運転試験と一線を画すものになっています。ボルボは自動運転車を開発するにあたり、自社のエンジニアが行う調査に頼るだけでなく、カスタマーから寄せられる様々な情報も活用していきます。

ボルボは自動運転技術にさらに磨きをかけ、2021年頃の市販車への導入に向け、カスタマーの要望に沿った機能を、高水準で提供していきたいと考えています。

----- 2015年のボルボ・カー・グループ

2015年の会計年度において、ボルボ・カー・グループは66億2,000万クローナ（2014年度は21億2,800万クローナ）の営業利益を計上しました。同年度の売上は1,640億4,300万クローナ（1,375億9,000万クローナ）でした。2015年度の世界販売台数は過去最高の50万3,127台に達し、2014年度と比較し8%増となりました。この史上最高の販売台数及び営業利益の実績により、ボルボ・カー・グループのグローバル改革プランへの投資は継続して実施されます。